

# 第9期 行動指針

## 1. 安全考動の実践（謙虚に、誠実に、愚直に）

### ○ 仲間を守り、そして自らを守るために

- 1) 「作業・列車」を止める 危ないと思ったらまず止めて下さい！  
⇒ 止めても大丈夫です その行動に感謝します
- 2) 「確認ですが」 責任者、作業員としてわからないことはありませんか？  
⇒ 工程、手法、作業環境等は大丈夫ですか
- 3) 「セルフ停電」 自らを守るための最後の行動です！  
⇒ 感電するのは、最初にさわる人です

## 2. 施工品質の確保と向上

### ○ 丁寧な計画・施工と確実な成果の提供

- 1) 作業計画時の三現主義の徹底（現地、現物、現実）  
現地で現物を確認しましょう（図面は、参考にしても信用はしないように）
- 2) 綿密な施工計画とルールへの順守  
3H（初めて、変更、久しぶり）作業ではないですか、対策は、大丈夫ですか
- 3) 責任者としての「役目」、作業員としての「役割」の確実な実行  
確実な成果が、私たちの商品です

## 3. 人材確保と資格取得

### ○ 3年後 5年後を見据えて

- 1) 人材の確保  
JR 再雇用退職者、新規採用者の確保
- 2) 重要資格（特に建業法・電気工事業法）の取得  
ネスコ学園、一般講習等の活用  
電気通信工事施工管理技士、電気工事施工管理技士、  
電気工事士、消防設備士等

## 4. 経営基盤の強化

### ○ 完成工事高の維持と原価管理意識の向上

- 1) オンレール部門（検電接地・列車見張等）作業への従事拡大
- 2) オフレール部門への更なる営業活動
- 3) 部門別原価管理の実施  
・丸直を意識した原価管理の実施